

「線型代数」第4刷への象嵌表

長谷川浩司

平成18年10月11日

p123, カコミ冒頭「つまり、正方行列 A, B に対し $BA = E$ なら $AB = E$ であることが示された。」→「つまり、正方行列 A に対し行変形で $BA = E$ とできれば、 $AB = E$ であることが示された。」(+11)¹

p214, 問(ii)イ)「を v_2 」→「 v_2 を」

p253, 下から4行目「第4成分が1になるとは」→「第4成分が1のままとは」

p268, 4) 以下に差し替え:

「(34)~(36), (39)を満たすノルムとして、作用素ノルムの他にも、内積から定まる距離 $\|A\| = \sqrt{\text{tr}(A^*A)}$ がある(良い練習問題). 絶対収束するテイラー級数には、収束半径(高木貞治「解析概論」第4章)より小さいノルムを持つ正方行列を代入できる(各成分が絶対収束する)ことが、 e^A の収束のとき(37)と同様にわかる。」

p269, 16-5(i) 括弧書きを次のように追加, 字体も直す:

「 $(dx = dx_1 \wedge \cdots \wedge dx_n)$ 」→「 $(dx = dx_1 \wedge \cdots \wedge dx_n, |\cdot| \text{ は行列式})$ 」

p298, 補題 証明中の文字 v (添字付を含む) を全て w に。²

p332 キ) (下から6行目) 「projective plane」→「projective plane.」(ピリつける)

¹左逆があればそれが必ず行変形で求まることまでは、これでは明らかでない。ちなみに「右逆がある \Leftrightarrow 左逆がある \Leftrightarrow 可逆」は、有限次元の線型写像について「単射 \Leftrightarrow 全射 \Leftrightarrow 全単射」ということ。

²これは次のページの v_j との混同を防ぐため。